

# 【令和元年度 新潟市事故報告件数】

資料 4

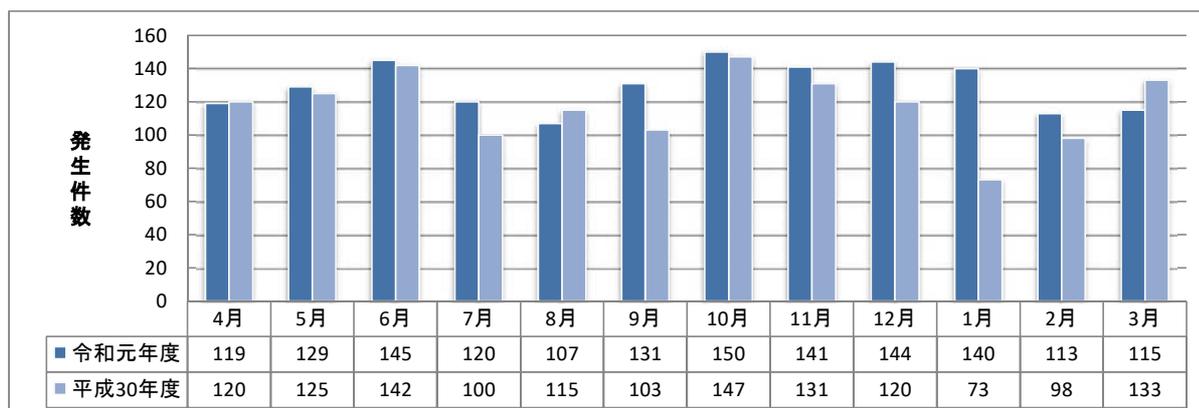
## ＜事故報告件数(H31.4月～R2.3月)＞

\* 事故報告件数は、市立・私立保育園、認定こども園、地域型保育事業施設の合計

| 令和元年度     |        | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 年間計  |
|-----------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 報告件数(合計)* |        | 119 | 129 | 145 | 120 | 107 | 131 | 150 | 141 | 144 | 140 | 113 | 115 | 1554 |
| 部位        | 骨折     | 6   | 3   | 11  | 4   | 4   | 7   | 12  | 4   | 6   | 7   | 8   | 5   | 77   |
|           | 口・歯    | 51  | 47  | 43  | 44  | 32  | 49  | 41  | 45  | 44  | 53  | 29  | 34  | 512  |
|           | 目・目の周り | 15  | 14  | 15  | 11  | 4   | 18  | 18  | 21  | 19  | 16  | 19  | 15  | 185  |
|           | 肘内障    | 8   | 11  | 9   | 7   | 13  | 13  | 13  | 13  | 16  | 9   | 10  | 3   | 125  |
|           | その他    | 39  | 54  | 67  | 54  | 54  | 44  | 67  | 57  | 59  | 54  | 47  | 58  | 654  |
| うち県・国への報告 |        | 3   | 1   | 1   | 1   | 0   | 2   | 2   | 1   | 2   | 0   | 0   | 2   | 15   |
| 平成30年度    |        | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 年間計  |
| 報告件数(合計)* |        | 120 | 125 | 142 | 100 | 115 | 103 | 147 | 131 | 120 | 73  | 98  | 133 | 1407 |
| 部位        | 骨折     | 8   | 3   | 8   | 4   | 6   | 3   | 5   | 6   | 4   | 3   | 5   | 6   | 61   |
|           | 口・歯    | 28  | 43  | 44  | 33  | 45  | 34  | 48  | 38  | 37  | 27  | 27  | 41  | 445  |
|           | 目・目の周り | 12  | 18  | 13  | 12  | 14  | 10  | 18  | 15  | 12  | 4   | 10  | 17  | 155  |
|           | 肘内障    | 10  | 13  | 9   | 14  | 10  | 7   | 13  | 13  | 16  | 5   | 12  | 7   | 129  |
|           | その他    | 62  | 48  | 68  | 37  | 42  | 49  | 63  | 58  | 50  | 34  | 44  | 62  | 617  |
| うち県・国への報告 |        | 2   | 1   | 1   | 0   | 1   | 2   | 1   | 1   | 0   | 1   | 2   | 2   | 14   |

令和元年度、保育課へ届いた事故報告は、1,554件でした。前年度の年間報告件数と比較すると、147件事故が増えたこととなります。単純に事故が増えたように見えますが、実際は、年々事故報告に対する考え方、取り組みが少しずつ変化し、以前に比べて事故報告の提出が意識づけられてきたことも一因ではないかと考えられます。

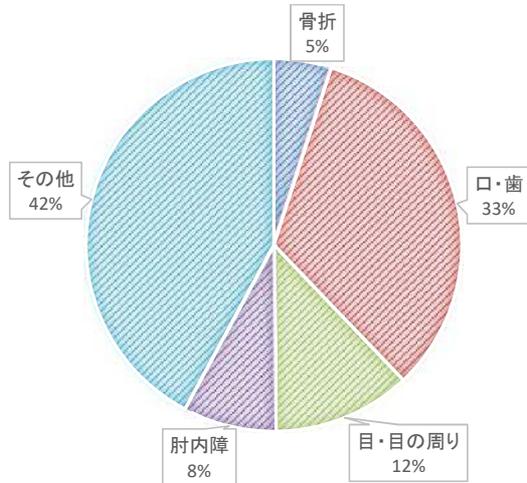
## ＜月毎の事故報告件数(H31.4月～R2.3月)＞



事故の傾向を知る上では、きちんと事故報告が提出されることが望ましいことですが、提出することが目的にならないようにしましょう。事故報告書を書くことによって「なぜ事故が起きたのか」「原因は何なのか」「再発を防止するためには具体的にどうすればよいか」「なぜ同様の事故を再発してしまうのか」等、園内で情報共有し事故防止に対する意識を高めることが大切なことと言えます。

## 【種類別事故件数の割合】

(H31.4月～R2.3月)



左の円グラフは、年間の事故及び種類別の割合を示したものです。

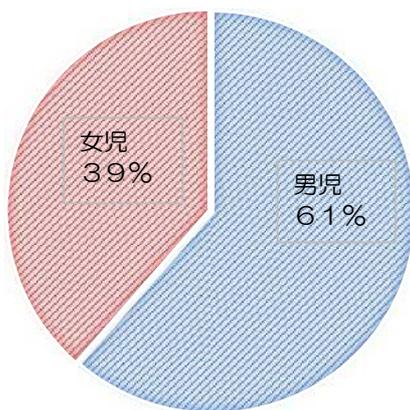
全体の33%が口や歯、12%が目や目の周り、(前半期はそれぞれ35%、10%)その他に含まれる額・頬・顎等のケガを含めると約50%以上は、顔面のケガということになります。

「額」や「頬」は、縫合を伴うけがが多くみられることが特徴的です。

年間71件の縫合を伴うけがのうち59件が「額」や「頬」のケガでした。

## 【事故件数男女比】

(H31.4月～R2.3月)

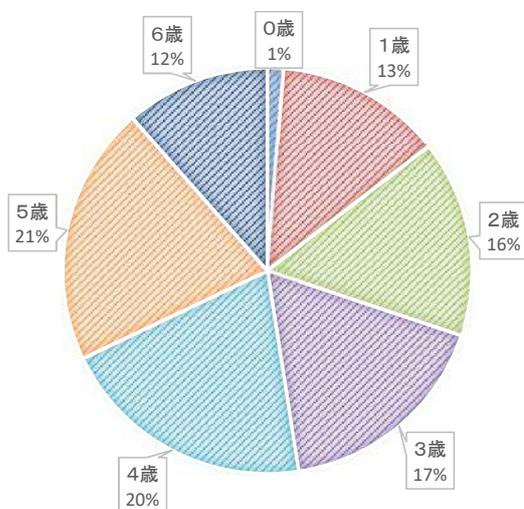


| 年齢 | 性別 | 男児  | 女児  | 計    | 年齢比   |
|----|----|-----|-----|------|-------|
| 0歳 |    | 13  | 7   | 20   | 1.3%  |
| 1歳 |    | 103 | 102 | 205  | 13.2% |
| 2歳 |    | 148 | 96  | 244  | 15.7% |
| 3歳 |    | 179 | 91  | 270  | 17.4% |
| 4歳 |    | 201 | 115 | 316  | 20.3% |
| 5歳 |    | 205 | 116 | 321  | 20.7% |
| 6歳 |    | 105 | 73  | 178  | 11.5% |
| 計  |    | 954 | 600 | 1554 |       |

男女比 男児 61.0% 女児 39.0%

## 【事故件数年齢比】

(H31.4月～R2.3月)



上記の表・左の円グラフは、令和元年度事故報告の男女比・年齢比を示したものです。全体の事故報告件数の61%が男児、39%が女児で男児の事故が多いということが分かります。(平成30年度は、男児63%女児37%)

年齢比では、3歳～6歳が68%を占めていることがわかります。(平成30年度は69%)この年齢になると走ったり登ったり活発な動きをすることができるようになりますが、周囲の状況に対する判断が十分にできないため事故が多くなり、骨折など大きな事故も起こしやすくなると言われています。

## 【国報告対象重大事故発生状況(R1.10月～R2.3月)】

令和元年度10月～3月に報告された重大事故等の中で、国への報告対象となった事故は以下の通りです。

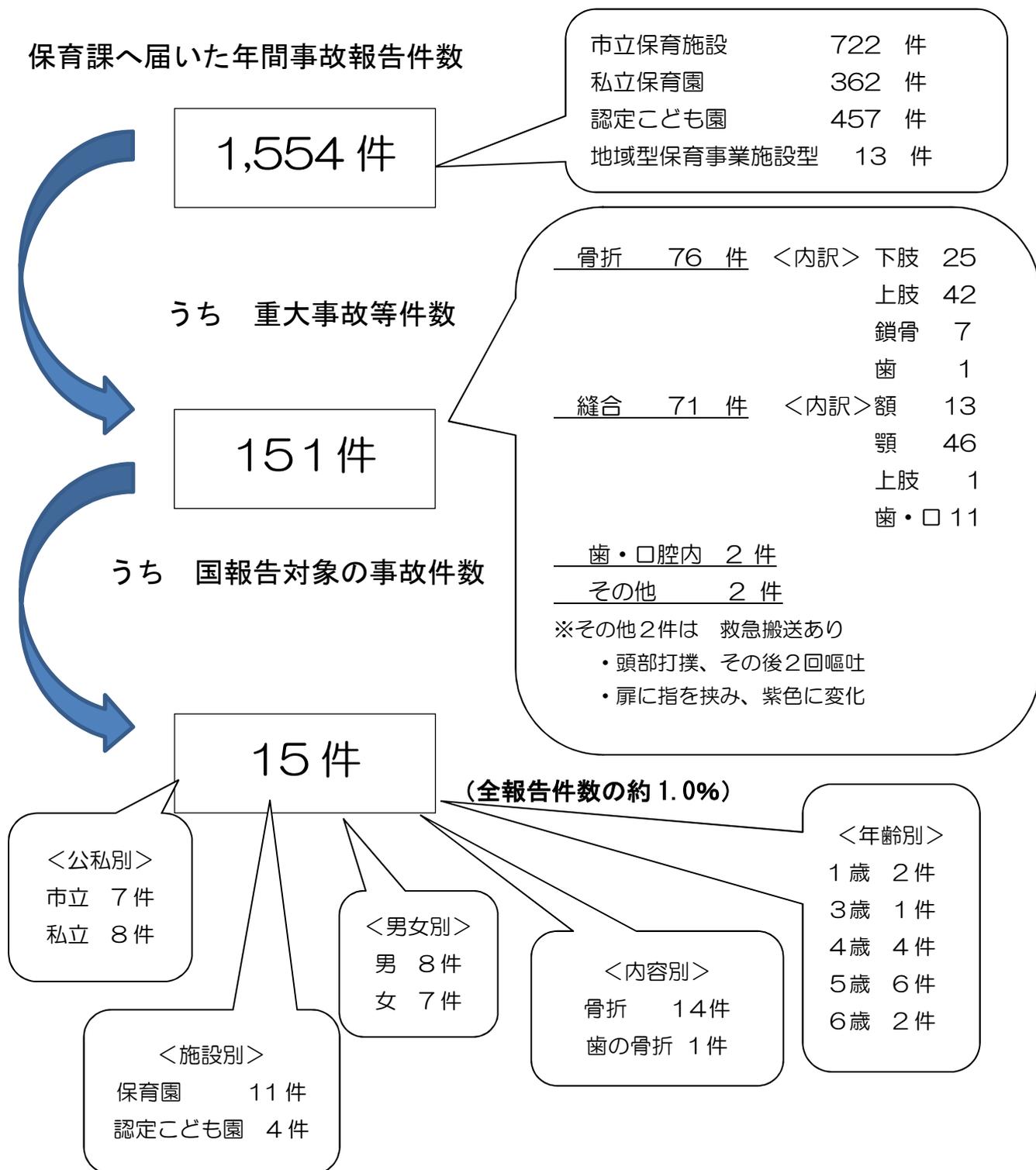
＜国への報告対象となる重大事故とは＞

- ・死亡事故
- ・治療に要する期間が30日以上を負傷や疾病を伴う重篤な事故等

| 満年齢 性別             | 場所            | 発生状況   |
|--------------------|---------------|--|
| 傷病名                | 時間            |  |
| 4歳 男児<br>左脛骨骨折     | 保育室<br>13:30頃 | 年中児21名で「だるまさんがころんだ」をした際「走らず歩いて逃げる」というルールだったが思わず走ってしまい他児と接触し転倒      |
| 5歳 女児<br>左手首骨折     | 園庭<br>16:30頃  | 園庭未満児用滑り台に上ろうとしたところ他児に押され15センチほどの高さから落下。その際手首を内側に向けて着地。            |
| 1歳 女児<br>左上腕骨顆上骨折  | 遊戯室<br>15:45頃 | ステージ脇の階段から降りようとした際、バランスを崩して落下。体の下に入った左腕を骨折                         |
| 3歳 男児<br>左大腿骨骨幹部骨折 | 園庭<br>16:05頃  | 園庭で遊んでいたところ平地でつまずき、左足を内側に捻ったような方で転倒。                               |
| 6歳 女児<br>左肘骨折      | 遊戯室<br>8:40頃  | 3～5歳児混合でソフト積木で作った迷路を渡って遊んでいたところバランスを崩し左肘から転倒し強打する。(要手術)            |
| 1歳 男児<br>右上A歯骨折    | 遊戯室<br>17:25頃 | 3つのコーナーを作って遊んでいるとき、別のコーナーで遊んでいたA児とB児が走り出し正面衝突。(A児の顔面とB児の前頭部がぶつかる)  |
| 6歳 男児<br>左前腕骨骨折    | 保育室<br>18:40頃 | 1歳児保育室において3歳～5歳児が迎えを待っていた。他児の迎えが来た際見送りに行った本児が飛び越えようとした柵に足が引っ掛かり転倒。 |



【令和元年度 新潟市事故報告件数】



新潟市では、保育中における事故で受診した場合、各保育施設から「事故報告書（災害報告書）」を提出していただいています。

令和元年度は、1,554件の事故報告がありました。その内、151件が骨折や縫合を伴うけがの「重大事故等」、さらにその内 15 件が「国報告対象の事故」でした。

「国報告対象事故」15 件中 12 件が4歳以上の骨折であることがわかります。運動能力も発達し、チャレンジする気持ちが高まると共に大きなケガにつながるリスクも高まっていると言えるでしょう。